

モノグサ

Monoxerの導入の背景と特徴

2024年度入学者より、神奈川工科大学では入学前教育として理科（選択科目）、英語、数学の基礎事項定着と学習習慣の醸成を目的として、解いて憶える記憶アプリ「Monoxer」を導入しています。

「Monoxer」は、一人ひとりの記憶に合わせて問題を出題するため、記憶の定着に効果的です。また、今まで可視化することが難しかった「記憶の進捗状況」を可視化することができます。「Monoxer」を活用することで、基礎重要事項の定着と学習習慣の醸成を目指します。

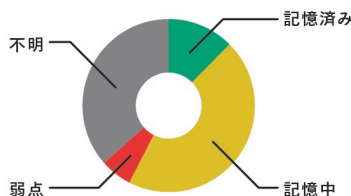
記憶度に合わせて 難易度変化

問題を解くたびに記憶状態を分析し、必要な問題を必要なだけ、忘れた頃も見計らって適切な難易度で出題します。いわば、個人の専用問題集が出来上がるようなイメージです。



定着度を可視化

難易度ごとの正誤情報や回答履歴をすべて集計しており、「今どれだけ憶えているか」をAIが判定・計測します。これまで曖昧だった記憶度を客観的に、正確に測定することができます。



1回あたり数分で学習 可能

スマートフォンやタブレットを使って、隙間時間に数分で取り組めるので、勉強が苦手、得意じゃない、、、という場合でも取り組みやすくなっています。通信もほぼ使わないので、通信環境に影響されず学習が可能です。



覚えやすさと忘れにくさの双方から、
Monoxerの学習を推奨します。



紙（単語帳など）

覚えやすい	問題形式	○ 単語、ディクテーションなど様々な形式	✕ 問題の形式になっていない
	難易度変化・適応学習	○ 択一や自由入力など自動で調整	✕ 自分で難易度調整をする必要あり
	学習時間・量	○ 毎日の最適な学習量を自動設計	? 自分で憶えたと思うまで学習
忘れにくい	定着度の把握・可視化	○ AIが記憶状況を客観的に判定し、%で表示	△ 自分の感覚で都度判断
	反復演習	○ 忘却速度を加味して出題	△ 自分で都度判断して学習
その他	一覧性	△ 形式によっては冗長	○ 一覧で見るのに適したレイアウト
	学習履歴	○ 学習回数や時間帯を計測可能	△ 書き込みや汚れで判断

保護者の皆様へのお願い

端末の貸し出し

Monoxerはスマートフォン、タブレット上のアプリでご利用いただけます。生徒様が端末を持っていない場合は無理のない範囲で保護者様の端末をご活用いただけますと幸いです。



お取組み状況のご確認

アプリ上で学習回数や記憶状況など生徒様のお取組み状況をご確認いただけます。ぜひ生徒様とのコミュニケーションにご利用ください。

